3月定例議会

昭和59年度一般会計予算

二一億四、五〇〇百万円に

職員60歳で定年、条例制定

昭和五十九年度予算などを審議する三月定例議会が三月九日から十九日までの十一日間の会期で開かれ、村長提出の昭和五十九年度一般会計予算、五つの特別会計予算など三一議案と議員発議の議会報発行に関する条例の制定など二議案を、総べて原案どおり可決しました。

一般質問は、十六日行われ、十人の議員が財政運営、庁舎用地の買戻し、旧横小跡地の処分問題などを質しました。

定例議会で可決されたおもな議案は次のとおりです。

村長選挙の立会演説会廃止

◎昭和五十九年度一般会計予算と特別会計予算

四、五頁に内容を掲載ご参照を。

◎固定資産評価審査委員の選任

市村庄市氏（68歳・横越）三月末で任期満了のため、同人の再任を同意。

◎横越村長選挙立会演説会条例の廃止

公職選挙法の改正により、村条例を廃止。

◎昭和五十九年度事務費賦課総額及び賦課単価（農業共済事業）

毎会計年度農業共済事業を行うための事務費の賦課。

◎議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

費用弁償及び日当「一、三〇〇円」を「一、五〇〇円」に、宿泊県内、県外「七、五〇〇円」を「八、五〇〇円」に改正。

なお、特別職、非常勤特別職、一般職員も同様に改正。

◎職員の定年等に関する条例の制定

職員の定年年齢六十歳。定年に達した日以後の最初の三月三十一日に退職。昭和六十年三月三十一日から施行する条例を制定。

◎一般会計補正予算

歳入は二五、六二七千円を追加。二二、九八七千円を減額。歳出は五〇、八七〇千円を追加。四八、二三〇千円を減額し、歳入歳出予算は、一九億三三、二一〇千円となりました。

おもな補正予算の内容は、

土地改良総合整備事業　八、三九〇千円
小規模排水対策特別事業　七、六二八千円
土地改良総合整備事業（国庫債務負担行為分）　六、四五七千円
道路除雪事業　二、〇〇〇千円
向陽高校建設事業負担金　五、八〇四千円
役場庁舎建設基金　二、一四二千円
職員退職手当負担金　九、四四八千円

農業共済事業事務費の賦課

	賦課総額	賦課単価
1. 水稲共済割	円 1,991,000	10a当り 220円
2. 麦共済割	6,000	10a当り 220円
3. 家畜共済割	357,000	乳牛、種豚加入金額1万円当り40円。肉豚加入金額1万円当り30円
4. 果樹共済割	225,000	共済金額1万円当り 30円
5. 均等割	68,000	1戸当り 100円
計	2,647,000	

◎議会報発行に関する条例の制定

地方自治法第115条の趣旨に基づき、開かれた議会を公開報道するために議員発議で条例制定。

～村長との対話しよう～

なんでも相談室

毎月20日に村長室開放

村民のみなさんとの対話で、住みよい村づくり、開かれた村行政をすすめていくために、今年度から毎月20日に村長室を開放して、「なんでも相談室」を開設することになりました。

地域の問題、村行政に関することなど建設的な村民の意見を求め、行政執行に反映していきたいと考えています。

村民の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

なお、これまで地域で実施してきました村政こん談会も機会をみて開催する予定です。

4月のなんでも相談室ご案内

日時　4月20日（金）
午前9時から12時
午後1時から4時
（受付に申し出てください。）

東北電力 作業停電

4月26日（木）
午前8時30分から
午前12時まで
二木木新田・下金域

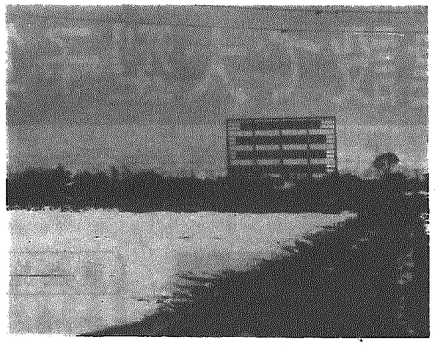
建設工事入札結果

1. 工事名	第29号排水路工事	公共下水道管渠布設工事
2. 工事場所	沢海	横越
3. 入札月日	昭和59年3月14日	昭和59年3月14日
4. 入札業者	7業者	7業者
5. 落札額	2,749万円（随意契約）	4,350万円
6. 落札者	㈱田中組	高木組
7. 工期	昭和59.3.14～59.8.20	昭和59.3.19～59.9.14

県住宅供給公社

横越団地5月下旬に分譲

土地建物で約一、八〇〇万円



5月分譲にむけ工事が進む横越団地

県住宅供給公社横越団地の宅地造成工事が例年にない豪雪の中、五月下旬の分譲住宅募集受付にむけて急ピッチにすすめられています。

住宅供給公社の昭和五十九年度事業計画によりますと、横越団地は、六六戸のうち十二戸を募集するというもので募集受付は五月二十一日から三十日までの十日間。

十二戸の分譲住宅は、すべて住宅供給公社が設計した住宅型（建物平面図集）の中から選ぶというメニュー方式がとられ、六月上旬に募集抽選会、六月下旬に契約、及び建物の配置打合せを行い住宅公社で建築し、十一月下旬に分譲住宅の引渡しをする予定となっています。

分譲住宅譲渡予定価格

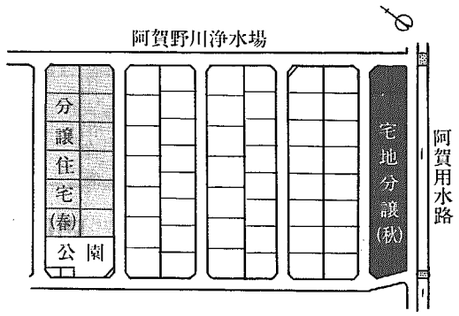
規模		譲渡予定価格	公庫融資見込額	公社立替金	自己資金
		千円	千円	千円	千円
土地	260㎡	18,008	7,600	8,500	1,908
建物	82				

分譲住宅の譲渡予定価格は、土地二六〇平方㍍（七八・八坪）建物八二平方㍍（二四・八坪）の場合でおよそ一、八〇〇万円で、募集受付は役場企画調整課で行われます。

募集開始にあたって、公社チラシが五月中旬に新聞折込みがされます。また、五月号広報よこごしでも、詳しく紹介いたしますのでご覧ください。

県住宅供給公社の分譲住宅について知りたい方は、役場企画調整課までお訪ねください。

昭和59年度分譲計画図



役場人事異動（4月1日付）

▽保健福祉課長　佐藤忠雄（保健福祉係長）▽税務課長　渡辺孝二（経済課係長）▽経済課係長　神田　繁（企画調整課）▽保健福祉課係長　江口禎二（税務課）

新しく赴任した先生

（　）は前任校

横越小学校……▽校長　長沢信康（三川小）▽教諭　佐藤　衛（亀田早通小）本間康子（三川綱木小）五十嵐アサ子（水原分田小）桑野裕子（白根白根小）渡辺由美子（新採用）小沢真由美（新採用）

横越中学校……▽校長　藤井英克（新潟南浜小）中田和吉（笹神笹神中）成田弘子（新採用）

社会板

素晴しい隣人愛

会議を終え、久しぶりに新潟駅から列車に乗車した。私の斜め差し向いに実業家らしい恰幅な男が座っていた。発車直前に五歳くらいの男の子を連れ、背には乳児を負うた三十歳代の主婦が男の向い側に席をとった。

発車して間もなく、男の子が「お母さん喉が乾いた」と言い出し、母親はジュースの缶を取り出して栓を抜き与えた。ところが、列車の揺れた弾みで男の子がよろめき、向いに座っている男の人のズボンにジュースをかけてしまった。母親は、大慌てに「済みません、申訳ありません」と連発して、タオルで男の人のズボンを拭き始めた。男の人も「奥さん、たいしたことありませんから」と自分のハンカチで拭き始めた。

男の子は「おじさん、済みません、かんにんして」と誠に殊勝な謝りことばを述べた。母親に催促されて出たことばでない。子供自身の心から滲み出たことばである。

母親は、「失礼でございますが、お詫びのしるしにクリーニング代お受け取りください」と紙包を差し出した。男の人はそれを拒んでいたが、男の子が困った顔をして、「おじさん、僕が悪いのです。貰ってください」と予期もしないことばが出て来た。男の人はじっと子供の顔を見て、にっこり笑って「坊や、おじさんも悪いのだよ。私が脚を伸ばしていなければ、坊やにもぶつからなかったのだよ。半分こにしようよ。」と言ってお母さんのお礼を静かに返えした。

男の子も、母親も納得したのか「私が子供の躾け方が悪かったので、責任は私にあります。お許しください」とおも謝る。男の人は「いやいや、私も悪いのです。お宅のお子さんの健気（けなげ）な心には胸を打たれました。どうぞ気にならないでください」こんな会話が終る頃、列車は新津駅に着いた。私は、この親子と計らいの巧みであった男の人を温く見つめて列車を降りた。

とかく問題にされている家庭の躾、この母親に限っては敬服のほかない。とくに子供のことば・態度は、日頃の躾から沸き出た価値あるものである。一方、被害者の男の人も自分の非を子供に理解させて温く子供を包んだ行為には頭が下がる。

世間には争いや葛藤が常であるが、一歩進めて隣人を愛する解決の方途を見い出したいものである。（板垣）